

発言No.

4

受付No.

5

令和 3 年 6 月 9 日
14 時 34 分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 24 番

氏名牛尾昭

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 市長の市政に対する姿勢について

①三月議会では、出馬表明がなかったが、二期8年目が残り僅かとなるこの時期に、当初の目標達成のために、3期目への豊富を市民に向けて語られるべきでは。②コロナ禍の中、水産業全般、神楽産業全体、中小企業に対する支援策を次々と打たれたが、今後の追加支援策を問う。

③先般、会議所から、駅前の岩多屋閉店後の跡地利用について、要望活動がなされたが、対応について、市長の姿勢を問う。

④来月からワクチン集団接種が始まるが、64歳未満については、どの様にされようとしているのか市長の姿勢を問う。

⑤浜田お魚市場の仲卸しブースが先行オープンした。旧お魚センターを買い取り、リニューアルして仲卸業者に移転してもらった。市長の肝いり事業であるが、問題点はある。市長の受け止め方を問う。

⑥地元巻き網漁船の二ヶ統のうち一ヶ統に事故があり、現在、休漁中である。底引き網漁が休漁期のために、お魚市場に並ぶ原魚が確保出来ない場合もある。間もなく施設はグラウンドオープンするが、市長の見解を問う。⑦水産庁の有識者検討会が骨子案を公表した。

「多目的船舶」という、一つの資源に頼らず収入源を多角化する新たな操業形態への転換促進を柱に据えた。簡単にいうと、底引き網をしながらイカ釣りを行うという、異なる漁業を一隻で行えというものだ。つまり、底曳きの休漁期にイカ釣りをを行うなど、なるべく休漁期を短く出来るし、同時に水揚げ高が上がる。新規事業であり、市長を先頭に取組むべき課題と思うが見解を問う。

2. 教育課題について

(1)総務文教委員会^の提言^{について}

幼稚園の新園建設については、前倒しの検討を提案したが、市長並びに教育長の見解を

問う。

(2) 四中統合について

① 地域でなぜ、弥栄中学問題を巻き込んで、議論しないのかという、根本的問題がある。自治区制度が発展的に解消された現在、数百億かけた浜田美都線が弥栄まで整備された状況からして、そちらを先に検討すべきと思うが問う。

② 5月24日の地元説明会では、3中を統合先としての議論であった。前回までは、2中の希望も多かったが欠落していた。指摘しておく。4中のPTA会長は、保護者が心配して、事前に美川小学校から周布小学校や長浜小学校へ転校して美川小学校の児童が減少するのではないかという意見があった。その他の方からも、将来展望が見えず、子供達に不安が広がっているとの指摘があった。当局は、もう少し、地域の声に沿った、実現可能な、様々なシュミレーションを示すべきと思うが見解を問う。